



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月26日

上場会社名 株式会社正興電機製作所

上場取引所 福

コード番号 6653

URL <http://www.seiko-denki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福重 康行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営統括本部長 (氏名) 田中 勉 (TEL) 092-473-8831

四半期報告書提出予定日 平成28年11月2日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績 (平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	13,714	△6.5	455	△14.4	429	△16.2	196	△27.6
27年12月期第3四半期	14,665	15.6	532	215.4	512	192.8	272	203.7

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 622百万円( 18.0%) 27年12月期第3四半期 527百万円( 67.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	17.24	—
27年12月期第3四半期	23.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	15,768	6,892	43.7
27年12月期	17,832	6,407	35.9

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 6,892百万円 27年12月期 6,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	5.00	—	6.00	11.00
28年12月期	—	6.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,500	0.2	840	32.8	820	42.3	480	80.0	42.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 、 除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」の「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期3Q	11,953,695株	27年12月期	11,953,695株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	535,147株	27年12月期	534,801株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期3Q	11,418,711株	27年12月期3Q	11,758,508株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、中国を含む新興国経済の減速や米国の利上げに対する警戒などの外的要因による先行き不透明感が和らぎ、幾分持ち直しの兆しが見られたものの、力強さに欠く状況にありました。しかしながら、公共投資の増加や堅調に推移する雇用情勢に支えられ、日本の経済活動は緩やかに改善すると考えられております。

このような状況の中、当社グループは長期経営ビジョン「正興グループビジョン100」及び中期経営計画「SEIKO IC2017」のもと、激変する事業環境を大きく成長する機会ととらえ、4つの重点課題(①コア事業の基盤強化による事業の拡大と高収益化 ②新事業・新分野の拡大 ③戦略的な人材育成 ④CSR経営の推進)に取り組んでおります。

この結果、電力部門、情報部門、その他は堅調に推移したものの、環境エネルギー部門が減少し、当第3四半期連結累計期間の売上高は13,714百万円(前年同期比 6.5%減)となりました。

損益につきましては、営業利益は455百万円(同 14.4%減)、経常利益は429百万円(同 16.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は196百万円(同 27.6%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## (電力部門)

配電関連設備が堅調に推移し、売上高は3,637百万円(前年同期比 4.1%増)となったものの、セグメント利益は前年同期に対し大口案件が減少し136百万円(同 63.1%減)となりました。

## (環境エネルギー部門)

再生可能エネルギー関連や道路設備向け受配電システム及び上下水制御システム等は堅調に推移しましたが、前期好調であった家庭用蓄電システムの販売が振るわず、売上高は7,405百万円(前年同期比 16.2%減)となり、セグメント利益は118百万円(同 49.8%減)となりました。

## (情報部門)

港湾関連システムや健康管理システム等のクラウドサービス事業に注力してまいりました結果、売上高は830百万円(前年同期比 17.3%増)、セグメント利益は33百万円(前年同期 セグメント利益 2百万円)となりました。

## (その他)

液晶複合膜フィルム関連が堅調に推移し、売上高は1,840百万円(前年同期比 13.6%増)となりました。また、セグメント利益は電子制御機器部門の改善により166百万円(前年同期 セグメント損失 76百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (流動資産)

当第3四半期連結会計期間の流動資産の残高は、前連結会計年度と比較して2,556百万円減少の9,330百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が2,132百万円減少したことによるものであります。

## (固定資産)

当第3四半期連結会計期間の固定資産の残高は、前連結会計年度と比較して492百万円増加の6,437百万円となりました。これは主に、有形固定資産が減価償却等により95百万円減少したものの、投資有価証券が時価の上昇等により607百万円増加したことによるものであります。

## (流動負債)

当第3四半期連結会計期間の流動負債の残高は、前連結会計年度と比較して2,695百万円減少の6,335百万円となりました。これは主に、電子記録債務が1,088百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が2,561百万円減少したことや短期借入金820百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間の固定負債の残高は、前連結会計年度と比較して146百万円増加の2,540百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間の純資産の残高は、前連結会計年度と比較して485百万円増加の6,892百万円となりました。これは主に、利益剰余金が剰余金の配当により137百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により196百万円増加したことやその他有価証券評価差額金が時価の上昇により390百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成28年2月19日に発表いたしました予想に対し、変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等  
を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資  
本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしま  
した。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取  
得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更い  
たします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行って  
おります。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財  
務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事  
業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から  
将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はあります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,658	1,217
受取手形及び売掛金	7,225	5,093
有価証券	167	-
商品及び製品	187	284
仕掛品	1,975	2,092
原材料	299	309
その他	382	343
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	11,887	9,330
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,230	2,168
その他(純額)	866	832
有形固定資産合計	3,096	3,001
無形固定資産		
投資その他の資産	221	201
投資有価証券	2,562	3,170
その他	66	66
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,627	3,234
固定資産合計	5,944	6,437
資産合計	17,832	15,768
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,732	2,171
電子記録債務	-	1,088
短期借入金	2,205	1,384
未払法人税等	385	21
賞与引当金	-	592
工事損失引当金	7	19
その他	1,699	1,057
流動負債合計	9,030	6,335
固定負債		
長期借入金	213	177
退職給付に係る負債	1,738	1,737
その他	442	625
固定負債合計	2,394	2,540
負債合計	11,425	8,876

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323	2,323
資本剰余金	1,640	1,640
利益剰余金	2,112	2,172
自己株式	△248	△248
株主資本合計	5,828	5,887
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	897	1,288
為替換算調整勘定	△120	△103
退職給付に係る調整累計額	△198	△180
その他の包括利益累計額合計	578	1,004
純資産合計	6,407	6,892
負債純資産合計	17,832	15,768



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	14,665	13,714
売上原価	12,244	11,337
売上総利益	2,420	2,376
販売費及び一般管理費	1,888	1,921
営業利益	532	455
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	20	25
受取賃貸料	7	8
その他	9	9
営業外収益合計	37	44
営業外費用		
支払利息	29	27
為替差損	12	26
その他	16	16
営業外費用合計	58	70
経常利益	512	429
税金等調整前四半期純利益	512	429
法人税、住民税及び事業税	317	202
法人税等調整額	△76	29
法人税等合計	240	232
四半期純利益	272	196
親会社株主に帰属する四半期純利益	272	196

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	272	196
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	252	390
為替換算調整勘定	△12	17
退職給付に係る調整額	15	17
その他の包括利益合計	255	425
四半期包括利益	527	622
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	527	622

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電力部門	環境 エネルギー 部門	情報部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,495	8,842	708	13,045	1,619	14,665	—	14,665
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	237	225	463	1,299	1,762	△1,762	—
計	3,495	9,080	934	13,509	2,919	16,428	△1,762	14,665
セグメント利益又は 損失(△)	369	237	2	608	△76	532	—	532

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器、電子装置、(高分子/液晶)複合膜フィルム等の製造販売、汎用電気品等の販売であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電力部門	環境 エネルギー 部門	情報部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,637	7,405	830	11,873	1,840	13,714	—	13,714
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	220	233	453	1,228	1,682	△1,682	—
計	3,637	7,625	1,063	12,327	3,069	15,396	△1,682	13,714
セグメント利益	136	118	33	289	166	455	—	455

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器、電子装置、(高分子/液晶)複合膜フィルム等の製造販売、汎用電気品等の販売であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。